

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 25 日(2024.11.25)

【公開番号】特開 2024-103495(P2024-103495A)
【公開日】令和 6 年 8 月 1 日(2024.8.1)
【年通号数】公開公報(特許)2024-143
【出願番号】特願 2024-74818(P2024-74818)
【国際特許分類】

C 0 7 D 3 0 3 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

A 6 1 K 3 1 / 3 3 6 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 K 3 1 / 7 8 5 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 4 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

C 0 7 D 3 0 3 / 0 4 C S P

A 6 1 K 3 1 / 3 3 6

A 6 1 K 3 1 / 7 8 5

A 6 1 P 4 3 / 0 0 1 1 1

A 6 1 P 3 5 / 0 0

20

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 11 月 15 日(2024.11.15)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

X線粉末回折により測定される、約 5.6、約 8.9、約 11.5、約 12.1、約 15.4、および約 20.9° 2θ におけるピークを特徴とする、フマギル-6-イル N-(トランス-4-アミノシクロヘキシル)カルバメート 1-ヒドロキシ-2-ナフトエ酸塩の結晶。

【請求項 2】

X線粉末回折により測定される、約 5.6、約 8.9、約 11.5、約 12.1、約 15.4、約 15.9、約 19.7、約 20.9、および約 23.3° 2θ におけるピークをさらに特徴とする、請求項 1 に記載の結晶。

【請求項 3】

X線粉末回折により測定される、約 5.6、約 8.9、約 11.5、約 12.1、約 14.6、約 15.4、約 15.9、約 17.4、約 18.1、約 19.7、約 20.9、および約 23.3° 2θ におけるピークをさらに特徴とする、請求項 1 に記載の結晶。

40

【請求項 4】

図 10A、10B、10C、又は 10D に示すものと実質的に同様の X 線粉末回折パターンを特徴とする、請求項 1 に記載の結晶。

【請求項 5】

熱重量分析法 / 示差熱分析法により測定される、約 181 における吸熱事象の開始および約 186 におけるピーク、並びに約 191 における発熱事象をさらに特徴とする、請求項 1 に記載の結晶。

【請求項 6】

示差熱分析法により測定される、約 182 における吸熱事象の開始および約 186 における

50

おけるピークを特徴とする、請求項 1 に記載の結晶。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の結晶を含んでなる、リンパ腫及び骨髄腫から選択される何れかの疾患を治療するための組成物。

【請求項 8】

前記疾患がリンパ腫である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記疾患が骨髄腫である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の結晶を含んでなる、MetAP2を阻害するための組成物。

10

【請求項 11】

請求項 1 に記載の結晶の製造方法において、フマギル-6-イルN-(トランス-4-アミノシクロヘキシル)カルバメート1-ヒドロキシ-2-ナフトエ酸塩を、アセトニトリル、酢酸エチル、メチルエチルケトン又はテトラヒドロフランから結晶化することを含む方法。

20

30

40

50